



令和5年度一般会計12.6億円の黒字

実質単年度収支3.4億円、5年連続黒字

令和5年度一般会計 統計上、統一的に用
決算は、歳入768億 いられる「普通会計」
4883万円、歳出7 (企業会計や国保、会
55億8364万5千 計間重複分などを除
円。 く)では、令和5年度
前年度と比較する の実質収支は、12億7
と、歳入は6億973 45万3千円の黒字
5万7千円(0.9%) で、この実質収支から
の減、歳出は1億91 前年度の実質収支を差
24万円(0.3%) し引いた単年度収支
の減で、歳入歳出差引 は、5億2920万7
額は12億6518万5 千円の赤字です。
千円の黒字。 これに、市債の繰上
この差引額から、翌 償還金などを加えた実
年度繰越財源6989 質単年度収支では、3
万3千円を控除した実 億4635万9千円の
質収支額は、11億95 黒字で、5年連続の黒
29万2千円です。 字となっています。

歳入では、 市税が155億49
10万6千円で、前年
度に比べ2億5014
万9千円(1.6%)
の減です。

このうち、市民税は 個人分が53億8157
万3千円で、9143
万2千円(1.7%)
の増、法人分が7億6
275万9千円で、9
644万5千円(11.
2%)の減です。

固定資産税は71億5 798万1千円で、大
規模な設備投資の減少

市債は45億1500 万円で、先端研支援セ
ンター拡張事業や臨時
財政対策債の減などに
より、14億2130万
円の減です。

この結果、自主財源 比率は34.9で0.9
ポイント上昇し、財政
力指数は0.413
で、0.009ポイン
ト低下しました。

歳出では、 義務的経費の人員費
は106億8949万
1千円で、給料等の増
改定により1億830
2万9千円の増、
扶助費は153億7
540万1千円で、国
の低所得世帯物価高騰
対策の増などで9億3
635万1千円の増、
公債費は96億878
2万1千円で、5億6
931万7千円の増、
義務的経費合計では

357億5271万3 千円で、16億8869
万7千円(5.0%)
の増です。
財政構造の弾力性を
示す経常収支比率は95
.5%と、前年度より
0.6ポイント上昇
し、悪化しました。
投資的経費は、
普通建設事業費は75
億1623万3千円
で、国営かんがい排水
事業や先端研支援セン
ター拡張事業の終了な
どで、10億1072万
6千円の減です。
5年度は公債費のピ
ークの年で、実質公債
費比率は7.4%と、
前年度より0.7ポイ
ント上昇し、将来負担
比率は43.2と、2.
4ポイント上昇し、悪
化しました。
公債費は、令和6年
度以降減少に転じるも
の、高水準で推移し、
合併特例債は令和5年
度で終了となりました。

病院事業会計では、 荘内病院の入院患者
数は13万1179人
で、前年度に比べ19
13人(1.4%)減
少し、外来患者数は16
万4932人で、1万
7356人(9.5%)
減少しました。
湯田川温泉リハビリ
テーション病院の入院
患者数は3万5480
人で、

「米不足」で一句

▽8月22日、女性活躍特別委員
会で、女性の能力発揮を重視して
いる2つの会社、1つの農業団体
を議会に招いて聞き取り調査をお
こないました。中小企業も農家も
厳しい状況ですが、工夫と努力を
で改善をおこなっている姿に頭が
下がりました。

「生産の目安」を引き上げ生産
を拡大する、収入保険料の引き
上げ中止を国に求める、水田活
用交付金事業で耕作放棄地を発
生させない対策、有機農業に取
り組む農家への支援強化、「田
んぼダム」に協力する農家への
支援等々、自民党農政の下で危
機にある農業・農村を守り発展
させるための重要な要望が提出
され、真剣な協議がおこなわれ
ました。要望内容を議会でも取り
上げ実現を求めていきます。

▽29日におこなわれた、山形県
農民連の県要望に協力し、当日
も同席しました(写真)。

▽8月20日の朝日新聞の川柳コー
ナーに「減反をやるとき米が足り
んてか」という句が掲載されてい
ました。米不足の要因は色々挙げ
られていますが、根本問題は、主
食確保に責任を持たない、国の農
政にあります。

食料自給率向上を放棄する農
業基本法改定の影響、食料不足
となった場合に農家に特定の作
物生産を
強制する
「食料供
給困難事
態対策
法」への
対処、主
食用米の



上げ実現を求めていきます。

(県議 関 徹)

「所得税法56条廃止」など 市民から請願3件提出 共産党市議団は3件とも紹介

鶴岡市議会9月定例会は3日開会され、27日まで開かれます。

市民からの請願は、「治安維持法犠牲者

に謝罪と賠償をする国家賠償法の制定を求め
る意見書提出に関する請願」(石塚俊朗)は、
菅井巖議員と南波純議員が紹介議員です。

「国民の命を守るために早急に日米地位協定の抜本的改定を求め
る意見書の提出について

の請願」(沖繩に心答する会@山形代表漆山ひとみ)は、長谷川剛議員が紹介議員です。

「家族従業者の働き分を認めない所得税法第56条の廃止のための
意見書提出を求める請願」(鶴岡民主商工会
婦人部部長石川豊子、
新日本婦人の会鶴岡支
部支部長佐藤真知子)
は、坂本昌栄議員と遠
藤初子議員が紹介議員

中小企業振興条例 制定を求める声

第1回中小企業振興会議

市内の中小企業、小規模企業の振興に関わる効果的な施策推進を図るため、今年8月1日に設置された中小企業振興会議の第1回会議が、8月26日開催されました。

市から委嘱された11人の委員と、オブザーバーとして庄内支庁産業経済部長(代理)が出席しました。

会議の会長は、事務局(市商工課)から提案された学識経験者・東北公益文科大学の青木孝弘教授が承認・選出されました。

協議では、振興計画に係る主な課題と、重要事業(案)や、今年5月に実施した市企業経営課題調査の状況などが報告され、参加した全ての委員から意見や提案・要望が出されました。

です。
これら請願3件は、11日(水)の総務常任委員会にて審査されます。

陳情は、「母(王垂彦オウカイゲン)が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情」(東京都荒川区東日暮里・張一文チヨウイチブンは、議会運営委員会に報告されます。

陳情は、議会運営申し合わせ事項で、「議題として質疑、及び意見交換を行い、委員長報告はしない」とされています。

櫛引地域で局地的暴風雨被害

8月26日夕方、櫛引地域の一部で積乱雲に伴う短時間の突風・豪雨がありました。

庄内農民連の会員・果樹農家から被害が知らされ、翌日、菅井巖市議が現地調査に訪れました。

生産者の安野翔さんは、「これまで経験し



一方、労働団体の事業所訪問では、関係制度と施策など、改正に伴う実務対応が困難な事例もあることが述べられました。

今後、10月～11月に第2回目を予定しており、当局が提案した振興計画と、次年度の主要事業などの協議が行われます。

中小企業振興条例の

(1面のつづき)
688人(2・0%)増加し、外来患者数は8016人で、462人(5・4%)減少しました。

庄内病院の収益的収支では、収入は126億5692万1千円で、患者数の減少やコロナ関連の病床確保料の大幅な減額により、前年度に比べ11億212万1千円(8・0%)減少しました。

支出は、129億4737万7千円で、前年度に比べ4307万3千円(0・33%)減

少しています。

収支差引は、2億9045万6千円の純損失となりました。

4年度は7億6859万1千円、3年度は7億9347万2千円の黒字で、コロナ関連の補助金で、過去3年間は黒字会計でした。

庄内病院に対する市一般会計の負担金は、3条会計(病院事業収支)で7億7689万5千円、4条会計(資本的収支)で9億376万6千円となっています。

だった。

ラフランスはネット装備が無かったため、横からの風雨により、特に大玉サイズが振り落とされ、期待していただけにガッカリと、相次ぐ自然災害に嘆いていました。

周辺部の田んぼの水田も、倒伏した稲もあり、局所的な暴風雨被害と見られ、市でも調査中です。

「加工用も無理」とのこと、園内での廃棄処理を検討することです。

安野さんは3年前にも、雹(ひょう)被害に

よって壊滅的なダメージを受けています。「今回は、和梨も落下はあったが、ネットをしていたので最小限

決されました。改めて、持続的な振興計画の策定・実践にむけて、土台となる中小企業振興条例の制定が必要です。

菅井巖市議が傍聴しました。

建築課入札結果 () 内は予定価格

8月29日入札分
・小波渡地内消防ポンプ庫建設工事(小波渡字明ノ下90番3、147番1)(入札4業者うち1業者欠席)
日栄産業(株) 8,950,000円(9,060,000円) 工期~12/20 (落札率98.79%)

入札結果 () 内は予定価格

8月29日入札分
・市道沢山木揚場線岩川橋旧橋撤去工事(大岩川地内)(入札4業者)
(株)マルゴ 43,500,000円(44,180,000円) 工期~7/3/25 (落札率98.46%)